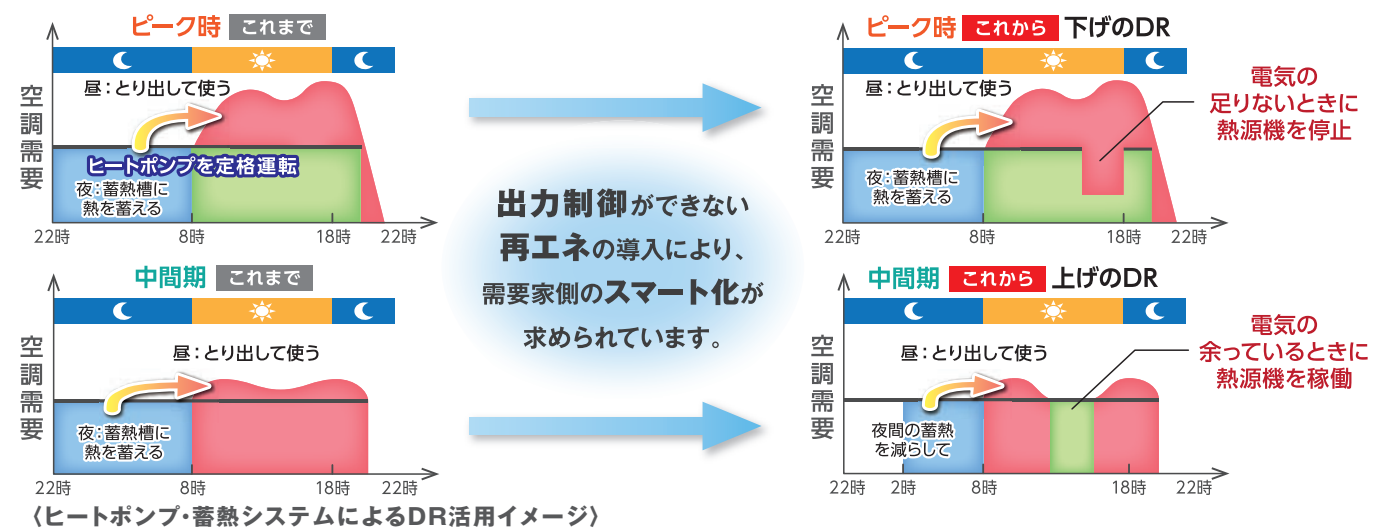


蓄熱の新しい使い方

再生可能エネルギー主力時代の電力系統オペレーションに対応

再生可能エネルギーの有効活用で経済的で持続可能な社会を実現!



蓄熱システムの柔軟な運用がディマンドリスポンスのカギ

持続可能な社会の実現には、再生可能エネルギーの主力電源化が必要ですが、「自然環境に応じて出力が変動する」という特徴に応じた対策が必要です。その対策の一つがディマンドリスポンス (DR)。需要家側設備を制御し、電力需要パターンを変化させることです。ヒートポンプ・蓄熱システムは、電気エネルギーを効率よく熱エネルギーに変換・蓄積し、必要な時に熱を取り出すシステムであることから、DRへの活用が期待されています。

DSMA (デマンドサイドマネジメント表彰) ロゴが完成しました。

ヒートポンプ・蓄熱センターが主催する「デマンドサイドマネジメント表彰」(DSMA)のロゴマークがいよいよ完成しました!地球をかけたトロフィーを表現したロゴで、中央の光芒は、地球環境改善への貢献を表現しています。

省エネ法の改正で「電気の需要の最適化」が大きな課題としてクローズアップされる中、「電気の需要の最適化」に資する優れた機器・システムの表彰に特化した表彰制度であるDSMAは、ますます注目が高まっております。

そのような中、このロゴマークが誕生したことにより、栄えある受賞者にそのアピールを行っていただく上で、有効なツールとしてご活用いただけることが期待されます。



7月は ヒートポンプ・ 蓄熱月間

一歩、一歩、未来に向けて
カーボンニュートラル実現の切り札
「ヒートポンプ・蓄熱システム」

主催：一般財団法人 ヒートポンプ・蓄熱センター／ヒートポンプ・蓄熱月間実行専門委員会

後援：経済産業省／警察庁／総務省／法務省／外務省／文部科学省／厚生労働省／農林水産省／国土交通省／環境省／防衛省／
国立研究開発法人 国立環境研究所／国立研究開発法人 産業技術総合研究所／国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構

協賛：一般財団法人 エネルギー総合工学研究所／公益社団法人 空調調和・衛生工学会／一般社団法人 建築設備技術者協会／一般社団法人 建築設備総合協会／一般財団法人 建築保全センター／
一般社団法人 公共建築協会／一般財団法人 住宅・建築SDGs推進センター／一般社団法人 住宅生産団体連合会／一般財団法人 省エネルギーセンター／公益社団法人 全国ビルメンテナンス協会／
電気事業連合会／一般社団法人 電気設備学会／一般財団法人 電力中央研究所／東京商工会議所／一般財団法人 日本エネルギー経済研究所／一般社団法人 日本エレクトロヒートセンター／
公益財団法人 日本環境協会／一般社団法人 日本機械学会／一般社団法人 日本経済団体連合会／一般社団法人 日本建設業連合会／一般社団法人 日本建築学会／一般財団法人 日本建築センター／
日本商工会議所／一般財団法人 日本消費者協会／公益社団法人 日本青年会議所／一般社団法人 日本設備設計事務所協会連合会／一般財団法人 日本地域開発センター／日本チェーン
ストア協会／一般社団法人 日本電機工業会／一般社団法人 日本電設工業協会／公益社団法人 日本都市計画学会／一般社団法人 日本百貨店協会／一般社団法人 日本病院会／一般社団法人
日本ビルエネルギー総合管理技術協会／一般社団法人 日本ビルデング協会連合会／公益社団法人 日本ファシリティマネジメント協会／公益社団法人 日本冷凍空調学会／一般社団法人 日本冷凍
空調工業会／一般社団法人 日本冷凍空調設備工業連合会／一般社団法人 不動産協会／一般社団法人 文教施設協会／一般財団法人 ベタリピン／公益社団法人 ロングライフビル推進協会

ヒートポンプ・蓄熱システムで、環境と未来の暮らしを守る！

冷房需要が本格化する毎年7月を「ヒートポンプ・蓄熱月間」と定め、電気の需要最適化、省エネルギー性・環境性に優れ、非常災害時には蓄熱槽水を消防用水や生活用水として活用することができる「ヒートポンプ・蓄熱システム」の普及促進と技術向上を目的に産官学が一体となり、感謝状(盾)贈呈やシンポジウム開催などの活動を展開しています。

脱炭素社会を実現するヒートポンプ・蓄熱システム

我が国では、「2050年カーボンニュートラル」を掲げ、温室効果ガスの削減に向けて大胆に取り組むとする中、菅総理大臣は、日本の2030年度の温室効果ガス削減目標を「2013年度から46%削減し、さらに50%の高みに向け挑戦を続けていく」と宣言しました。この目標を実現するため、再生可能エネルギーの主力電源化とヒートポンプ等の技術を活用した脱炭素化を目指す将来像が示されており、ヒートポンプ・蓄熱システムによる電気や熱のマネジメントに大きな期待が高まっています。こうした中、27回目を迎える令和5年度のヒートポンプ・蓄熱月間においても、ヒートポンプ・蓄熱システムの普及に向けた以下の活動を展開してまいります。

ヒートポンプ・蓄熱月間における主な活動内容



感謝状(盾)



第19回ヒートポンプ・蓄熱シンポジウムの様子



採用事例施設見学会の様子

活動内容 1 ヒートポンプ・蓄熱システムの普及に貢献いただいた企業・団体への感謝状(盾)贈呈

さまざまなお立場からヒートポンプ・蓄熱システムの普及にご尽力いただいた企業・団体の皆さまに感謝状を贈呈しています。今年は、「ヒートポンプ・蓄熱普及貢献賞」「特別感謝状」あわせて43企業・団体の皆さまに贈呈させていただきます。

活動内容 2 「第21回ヒートポンプ・蓄熱シンポジウム」の開催

“ヒートポンプ・蓄熱システム”の運転管理の更なる向上に向け、特に優秀な蓄熱システムの設備、運転管理に関わる改善事例の発表を中心に、設備オーナー、ならびに空調設備に関係される設計者、施工技術者、および運転管理者の方々を対象に開催します。

シンポジウム 日時 令和6年7月22日(月) 13:00~17:25 場所 国際ファッションセンタービル(KFC Hall)

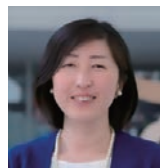
施設見学会 日時 令和6年7月23日(火) 1回目 9:30~10:30 / 2回目 11:00~12:00 場所 虎ノ門・麻布台地域 冷房施設・麻布台プラント

特別講演 脱炭素社会に向けたまちづくり ~ヒートポンプ・蓄熱システムの役割と普及戦略~

芝浦工業大学 副学長(システム理工学部 教授)

磐田 朋子氏

※講演者および講演内容については、変更になる場合がございます



活動内容 3 「電気需要最適化・省エネルギー社会実現セミナー」の開催

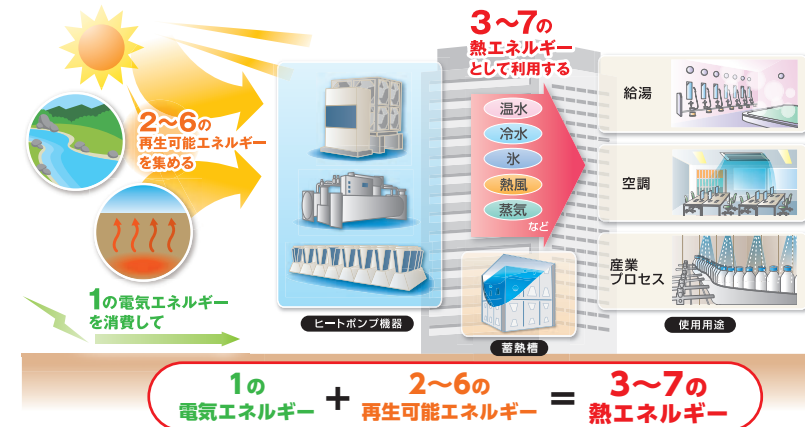
電気需要最適化・省エネルギーの重要性等を訴求し、それに役立つヒートポンプ・蓄熱システムの普及促進に資するセミナーを札幌市(7/7)で開催します。

活動内容 4 告知・PR

リーフレット、ホームページやメルマガにより、「ヒートポンプ・蓄熱月間」の紹介とともに、ヒートポンプ・蓄熱システムの電気の需要最適化に加え、省エネルギー・省CO₂効果ならびに蓄熱槽水の非常災害時活用としてのレジリエンス、蓄熱槽を活用したディマンドレスポンスについて訴求します。また、今回はメディアを活用した普及啓発などを実施します。

ヒートポンプ・蓄熱システムについて

ヒートポンプ・蓄熱システムはさまざまな場面で活躍しています！



ヒートポンプ機器は、熱と圧力の性質を利用して、空気をはじめ河川や地中、海水などの自然の熱* (再生可能エネルギー)を「集めて」、必要に応じて「運ぶ」ことによって、冷房・暖房や給湯をはじめ、工場の製造工程などにも利用されています。また、蓄熱槽と組み合わせることにより、電気需要最適化と省エネルギーを同時に実現することができます。

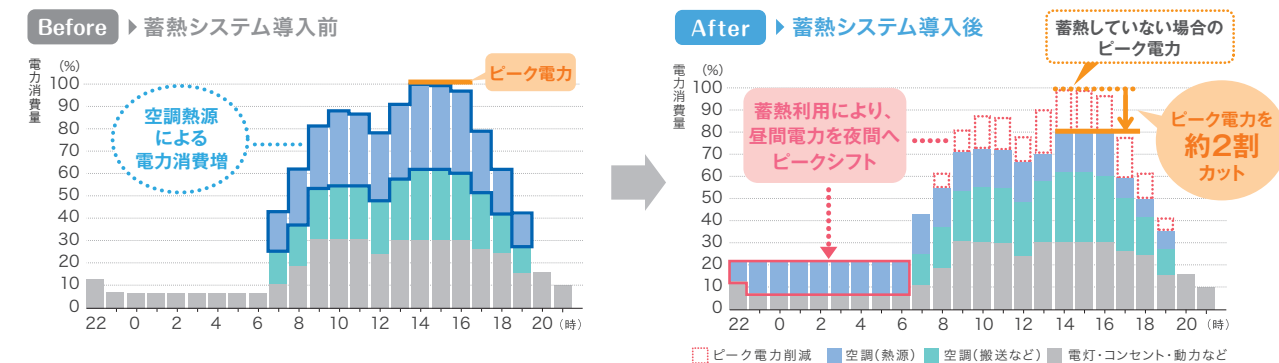
*太陽によって、くり返し暖められる再生エネルギーなので、燃料消費量やCO₂排出量を大幅に削減することができます。

ヒートポンプ・蓄熱システムのメリット

メリット 1 快適に空調を利用しながらピーク電力が削減できます！

ヒートポンプ・蓄熱システムによって、昼間の冷房に必要な冷熱の半分以上を夜間に「蓄えた」冷水や水で賄った場合、事務所建物のモデルケースにおいては、冷房をいつも通りに使用しても建物全体のピーク電力を約2割カットすることができます。

〈事務所建物のモデルケース〉

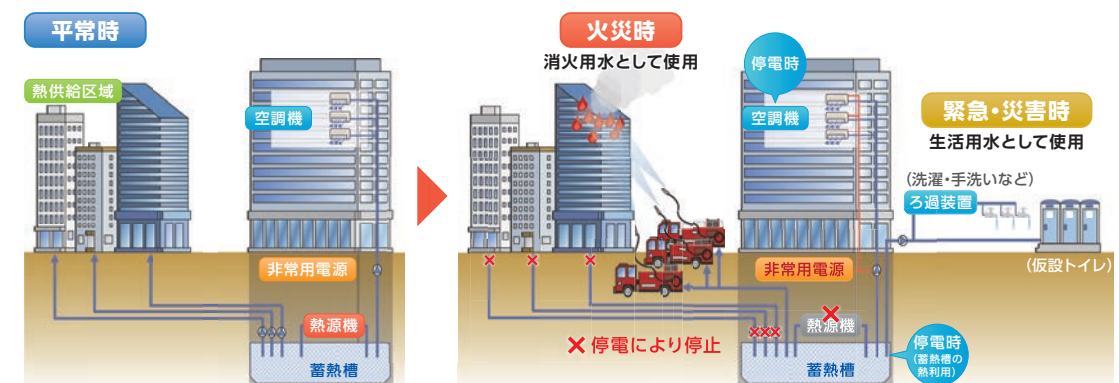


メリット 2 非常災害時には生活用水や消火用水として利用できます！

蓄熱槽の水は非常災害時には、トイレや手洗いなどの生活用水として、火災時には消火用水として利用することができます。

蓄熱槽水の利用イメージ

非常災害時には消火用水や生活用水として利用が可能



●建築基準法施行令の改正(2012年)により、蓄熱槽および貯湯タンクは貯水槽として容積率緩和の対象となりました。さらに、ヒートポンプ・蓄熱システムの熱源機についても容積率緩和の対象となる場合があります。